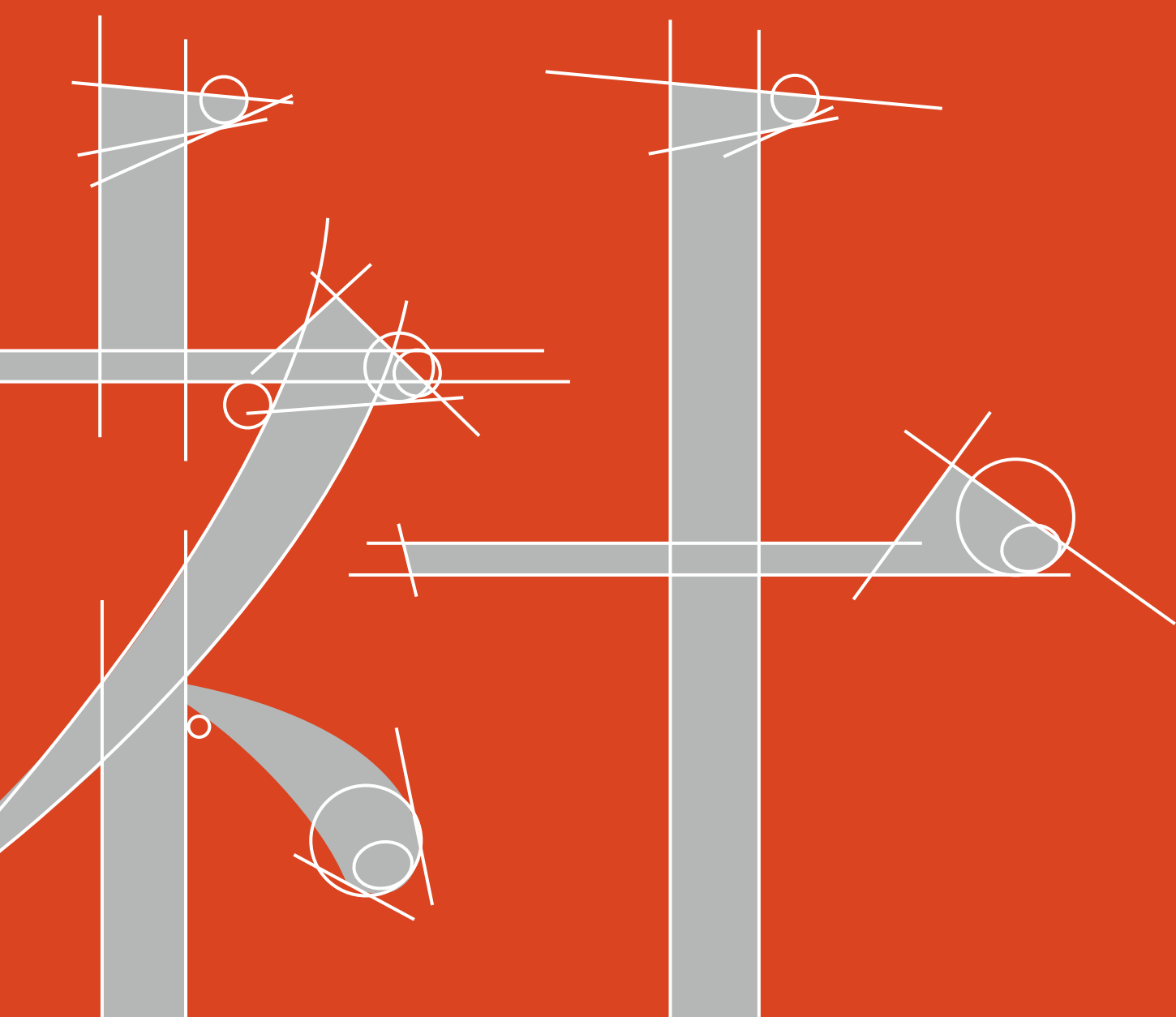




法政大学社会学部

「社会学コロキウム」第 36 回



“Shagaku” Colloquia
Faculty of Social Sciences
Hosei University

36



「生(ライフ)の現場」から 障害と運動を問いなおす

報告 [1] 知的障害者家族の母親像

——障害者総合支援法以降に照準して

染谷 莉奈子（日本学術振興会特別研究員 [PD]）

報告 [2] 森永ヒ素ミルク事件・障害女性の自伝を読む

——障害をめぐる批判的想像力に向けて

加藤 旭人（日本学術振興会特別研究員 [PD]）

討論者＝ 鈴木 智之（法政大学社会学部教員）

堅田 香緒里（法政大学社会学部教員）

司 会＝ 鈴木 智道（法政大学社会学部教員）

2024 年 7 月 2 日 [火] 17:00～19:00

法政大学多摩キャンパス・社会学部棟 304 教室

＋ Zoom によるオンライン配信

【趣旨】『生の技法』が出版されてから約 30 年。ごく一部の先駆的運動でしかなかった障害者の自立生活運動は、少しずつその裾野を広げてきた。このことの意義は論をまたないが、それでも個々の障害者やその周囲の人たちの生や共同性のありようは、メインストリームの語る運動の姿だけでは取りこぼされてしまう。

染谷報告では知的障害の人たちとその親（特に母親）のかかわりや親の思いについて、加藤報告では批判的障害学の視点から森永ヒ素ミルク事件の被害を受けた障害女性の自伝に示される生きざまについて取り上げる。これらの事例に基づいて、日本の障害者やその運動における学術的研究においてメインストリームの扱われてきた捉え方に対して再考を促すとともに、障害のあるなしにかかわらず共に生きられる社会の構想をより深く探求していきたい。

主催＝法政大学社会学部学会 共催＝法政大学大学院社会学研究科教授会

参加＝無料（他学部・他研究科・一般の方もぜひどうぞ）

オンライン参加＝ ミーティング ID: 822 8523 0810

パスコード: 140038

問い合わせ先＝法政大学社会学部事務課

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学社会学部事務課気付 TEL: 042-783-2351